

「総合事業経営による農業と地域への貢献宣言」

JAひだは、これまでも、これからも
総合事業経営により農業と地域へ貢献します。

JAひだは、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの対話を通じて、農業者の所得増大と地域の活性化に取り組みます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者を始め地域の方々により組織する協同組合で、農業者の営農と生活を支えるとともに地域活性化を進めるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興に対しては、農産物の生産販売にかかる事業や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農指導相談事業を通じて総合的に結び付ける中で取り組んでいます。地域づくりについては信用事業を始め、共済事業、福祉事業などを生活指導事業と連携し取り組んでいます。

JAは、このように信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支の中で実施しているからこそ経営基盤が安定し、営農指導員・TAC（出向く農業担い手担当）の配置や営農施設への投資が可能となっています。

JAひだは、これまでも、これからも、正組合員並びに准組合員の皆様とともに総合事業経営を続けることにより、農業の振興と地域の活性化に貢献することを、ここに宣言します。

2019年6月25日

第24回 飛騨農業協同組合 通常総代会

なお、現在、行っている主な取り組みは下記の通りです。

【主な取り組み】

1. 農業への貢献

- ① 営農指導員13名、事業横断的に担い手農家の訪問活動を行うTAC担当者を79名配置（2019年度期首時点）
- ② カントリーエレベーター・ライスセンター・野菜等集荷場・トマト選果場・農機センター・精米機・農業倉庫等の営農施設を64施設運営（2019年度期首時点）
- ③ トマト研修施設、飛騨牛繁殖研修施設の運営による新規就農者・後継者の育成支援
- ④ 「飛騨の美味しいお米コンクール（米コンひだ）」の開催による飛騨米の食味向上
- ⑤ 農畜産物販売専任部署による都市圏のJA・スーパーなどへの販促活動の実施やインターネットショップの新設販売先の拡大
- ⑥ 肥料・農薬の新たな割引制度「いつでも割引」による生産コスト低減への貢献

2. 地域への貢献

- ① 高山市・下呂市・飛騨市・白川村及び社会福祉協議会・病院との各種支援協定締結
- ② 行政や自治会組織等と連携した高齢者福祉活動の実施
- ③ 飛騨地域の保育園・幼稚園・小学校における食農教育活動の実施